

## 令和4年度（2022年度）八代高等学校シラバス

教科	国語	科目	言語文化
学年・類型	1年	単位数	3
教科書	探究 言語文化 桐原書店（212桐原 言文717）		
副教材	国語総合便覧 第一学習社 現代文単語集 古文単語集 宅習用問題集 体系古典文法 数研出版 精選漢文 尚文出版		
科目目標	言語活動を通して、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識技能を身に付けさせるとともに、上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深め、その文化の担い手として生涯にわたり読書に親しみ、自己を向上させ、他者や社会と積極的にかかわりあいながら人生を豊かにする態度を育てる。		
学習方法	教科書や副教材を中心に、知識をしっかりと身に付ける。また、課題探究学習やグループワーク等を通して、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度を養う。		

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①定期考査（知識・技能の定着状況を評価する問題を出題） ②確認テスト ③授業への取組状況	①定期考査（思考・判断・表現について評価する問題を出題） ②確認テスト ③課題の内容 ④授業への取組状況	①課題やノートへの取組状況や提出状況 ②授業への取組状況 ③自己評価や相互評価

各学期及び学年の成績算出方法について
観点別評価 知識・技能 40% 思考・判断・表現 40% 主体的に学習に取り組む態度 20%

学期	学習内容	評価規準（到達目標B規準）と到達度チェック（自己評価）			評価方法
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 学 期	古文入門 ・児のそら寝 ・大江山	<input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣いを理解したうえで、本文を正しく音読している。</li> <li>・古語辞典の使い方を理解している。</li> <li>・重要古語の意味を理解している</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・傍訳と脚注を参照しながら、僧たちの一連の行動、児の心理の推移などの内容を理解している。</li> <li>・「児のそら寝」の話のおもしろさについて考え、自分の意見を述べている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・範読を参考にして、積極的に音読している</li> <li>・現代語訳に取り組み、説話の内容を理解しようとしている。</li> <li>・この話のおもしろさについて、周りの意見に耳を傾けながら積極的に話し合っている</li> </ul>	① ② ③
	漢文入門 ・漢文の基礎 ・故事成語 「推敲」「漁父之辞」	<input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送り仮名の原則や主な返り点の決まりについて理解している。</li> <li>・書き下し文の決まりや置き字について理解している。</li> <li>・主な再読文字の読みと意味について理解している。</li> <li>・主な返読文字について理解している。</li> <li>・漢文特有の構造について理解している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書き下し文を参照しながら、漢文を正しく音読している。</li> <li>・訓点に従い、置き字や再読文字、返読文字の用法に注意しながら、漢文を正しく書き下し文に改めている。</li> <li>・置き字や再読文字、返読文字の用法に注意しながら、漢文を現代語訳している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・範読を聞き、書き下し文を参考にして、積極的に音読している。</li> <li>・日常使う漢語、格言、成句の意味を漢和辞典で調べ、その由来を調べている。</li> <li>・返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返し行っている。</li> </ul>	① ② ③
	現代文 ・「羅生門」	<input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全文を正しく音読している。</li> <li>・老婆に対する比喻表現など、特色ある表現の意味と効果を理解している。</li> <li>・芥川龍之介の他の作品を読むなどして、作者への理解を深めている</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭部分から作品の舞台背景を的確に捉えている。</li> <li>・下人の境遇や人物像を把握している。</li> <li>・下人の心理と行動の変化を的確に読み取っている。</li> <li>・読老婆との会話によって下人の考えがどう変化したか理解している。</li> <li>・作品の主題について考察している。</li> <li>・結末部分について改稿前と改稿後を読み比べ、読後の印象の違いについて、自分の考えをまとめている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。</li> <li>・芥川龍之介とその作品について知っていることを発表するなどして、教材への関心を高めている。</li> <li>・下人の生き方から、人間の生き方への認識を深めようとしている。</li> </ul>	① ② ③

2 学 期	古文 竹取物語・「なよ竹のかぐや姫」	□	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文を正しく音読している。</li> <li>・重要古語の意味を理解している。</li> <li>・音便について理解している。</li> <li>・助動詞「むず」について基本的な意味・用法を理解している。</li> <li>・「竹取物語」について、文学史的知識を身につけている。</li> </ul>	□	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。</li> <li>・登場人物の関係や物語の展開に注意し、内容を正確に読み取っている。</li> </ul>	□	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範読を参考にして、積極的に音読している。</li> <li>・重要古語の意味を、古語辞典を用いて調べている。</li> <li>・「竹取物語」のその後の展開に関心を持ち、調べたり読んだりしている。</li> </ul>	① ② ③
	伊勢物語・「東下り」	□	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞・助詞の重要語「らむ」、「さへ」「こそ」「ものを」「して」「だに」「てしがな」、「なむ」「し」「に」などについて、基本的な文法事項を理解している。</li> <li>・歌物語における和歌の役割や修辞技法について理解している。</li> <li>・「伊勢物語」について、文学史的知識を身につけている。</li> </ul>	□	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[東下り]「男」の心理の推移を旅の進行に対応させて理解し、その心情を工夫しながら日記として表現している。</li> </ul>	□	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範読を参考にして、積極的に音読している。</li> <li>・重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。</li> <li>・周りの意見に耳を傾けながら、積極的に話し合っている。</li> <li>・歌物語の系統を引く作品に関心を持ち、調べたり読んだりしている</li> </ul>	
	徒然草・「花は盛りに」 ※「玉勝間」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉のまとまりを的確に押さえて、全文を正しく音読している。</li> <li>・重要古語の意味を理解している。</li> <li>・助動詞「む」「べし」「ず」「き」「けり」「たり」、助詞「ばや」「で」「かな」「もがな」について、基本的な意味・用法を理解している。</li> <li>・係り結びや反語表現などの文法事項を理解している。</li> <li>・兼好法師と「徒然草」について、文学史的知識を身につけている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。</li> <li>・係り結びや反語表現などに現れている作者の思想や感情を、的確に読み取っている</li> <li>・[花は盛りに]本文の表現に即して、作者の美意識を理解している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・範読を参考にして、積極的に音読している。</li> <li>・重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。</li> <li>め周りの意見に耳を傾けながら、積極的に話し合っている。</li> <li>・当時の思想背景としての「無常観」について調べ、理解しようとしている。</li> <li>・兼好法師と「徒然草」について、文学史的事項を調べたり発表したりしている。</li> </ul>	

<p><b>漢文</b> 史伝「鶏口牛後」「臥薪嘗胆」</p> <p>文章「雑説」</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文に特有の語や、使役形・比較形・選択形の句形について、その読みと意味を理解している。</li> <li>・「鶏口牛後」という言葉の意味と由来を理解している。</li> <li>・春秋時代の状況について概要を理解している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文に特有の語や、否定形・反語形・仮定形などの基本的な句形について、その読みと意味を理解している。</li> <li>・指示語の指す内容と比喩(隠喩)表現の表す内容を正確に理解している。</li> <li>・本文が、自由で力強い古典散文への復帰を主張した唐宋八大家による名文の一つであることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・字の読みや訓読の決まりに注意して、正しく訓読している。</li> <li>・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。</li> <li>・「寧為鶏口、無為牛後」の比喩が表す内容を的確に捉えている。</li> <li>・遊説家蘇秦の行動と弁舌に注意して内容を読み取り、合従策について理解している。</li> <li>・「合従」に関連する語「連衡」について書かれた解説などを読み、理解している。</li> <li>・漢字の読みや訓読の決まりに注意して、正しく訓読している。</li> <li>・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。</li> <li>・本文の論理の展開と構成を理解している。</li> <li>・「伯楽」「千里馬」「奴隸人」など、比喩表現の表す内容を的確に捉え、その比喩によって表現された作者の主張を理解している。</li> </ul>	<p>範読を参考にして、積極的に音読している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中の語句の意味を漢和辞典を用いて調べている。</li> <li>・本文中に登場する地名について、地図で位置を確認している。</li> <li>・戦国時代の国家間の関係や、合従策に対する連衡策について調べている。</li> </ul> <p>・範読を参考にして、積極的に音読している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中の語句の意味を漢和辞典を用いて調べている。</li> <li>・韓愈と唐宋八大家について調べ、教材への関心を高めている。</li> </ul>	<p>① ② ③</p>
<p><b>現代文</b> 「場所の記憶を残す恋歌」</p>	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全文を正しく音読している。</li> <li>・小倉百人一首や清原元輔、歌枕についての文学史的な知識を身につけている。</li> <li>・日本の文化的継承において和歌が果たした役割について理解している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の論理の展開と構成に注意しながら、筆者の主要な見解を的確に読み取っている。</li> <li>・登場する和歌の内容を踏まえ、本文における和歌の役割を理解している。</li> <li>・歌枕を効果的に用いた和歌を詠み、その意図を自ら解説文にまとめている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中の難解な語句や表現を、国語辞典・古語辞典などを用いて調べている。</li> <li>・各地の歌枕についてに関心を持ち、積極的に調べている。</li> <li>・歌人の略歴や作風・代表歌などについて、調べたり発表したりしている。</li> </ul>	<p>① ② ③</p>

3 学 期	古文 土佐日記 「帰京」 和歌と俳諧 「平泉懐古」	<input type="checkbox"/> 全文を正しく音読している。 知重要古語の意味を理解している。  <input type="checkbox"/> ・助動詞「る」「り」「まし」、「なり」「ぬ」「せ」の識別、呼応の副詞などについて、基本的な文法事項を理解している。 ・月の異名、時刻の表し方、門出や方違への習慣など、古典常識について理解している。 ・紀貫之と「土佐日記」について、文学史的知識を身につけている。	<input type="checkbox"/> ・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 ・諧謔・臚化・対比などの表現に注意しながら、内容を正確に読み取っている。 ・[帰京] 帰京による喜びと落胆の交錯、亡児への愛惜を的確に捉えている。	<input type="checkbox"/> ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・重要古語の意味を、古語辞典を用いて調べている。 ・紀貫之と「土佐日記」について、文学史的事項を調べたり発表したりしている。 ・古典に関する知識について関心を持って調べ、本文に表現された世界を深く理解しようとしている。	① ② ③
	漢文 漢詩「絶句」「送元二使安西」	<input type="checkbox"/> ・絶句の形式を理解している。 ・各詩の詩形・押韻・対句などを正確に理解している。 ・漢文に特有な語や基本的な句形について、その読みと意味を理解している。 ・各詩に登場する地名について、その位置関係を理解している。 ・作者の生涯について文学史的な知識を持っている。	<input type="checkbox"/> ・漢詩のリズムを意識しながら、正確に音読している。 ・脚注を参照しながら、正確に現代語訳している。 ・[絶句] 異境の地にある作者の望郷の思いを読み取っている。 ・[送元二使安西] 旅立つ友人に対する惜別の情を的確に捉えている。	<input type="checkbox"/> ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・押韻・対句、語句の意味などを漢和辞典を活用して調べている。 ・詩中に登場する地名について、地図で位置を確認している。 ・作者の生涯について調べ、詩の内容への理解を深めようとしている。	
	現代文 近代の短歌・俳句	<input type="checkbox"/> ・各歌を正しく音読している。 知短歌のリズムとその効果について理解している。 ・短歌の表現技巧を理解している。 ・近代の短歌史や各歌の作者について、基本的な知識を持っている。 ・句を正しく音読している。 ・俳句のリズムとその効果について理解している。 ・俳句の表現技巧を理解している。 ・近代の俳句史や各句の作者について、基本的な知識を持っている。	<input type="checkbox"/> 各作者の文学に対する考え方、主張、個性を、作品の言葉を通して理解している。 ・句切れ、句跨り、分ち書きなど、短歌の表現技巧の効果を理解している。 ・表現に即して、各歌に詠まれた情景や心情を的確に捉えている。 ・各句を正しく音読している。 ・俳句のリズムとその効果について理解している。 ・俳句の表現技巧を理解している。 ・近代の俳句史や各句の作者について、基本的な知識を持っている。	<input type="checkbox"/> ・繰り返し音読し、作品のリズムやイメージを味わっている。 ・近代の短歌史や各歌の作者に関心を持ち、調べている。 ・各歌から受けた印象を自分の言葉でまとめている。 ・本文中の難解な語句や表現を、国語辞典などを用いて調べている。 ・繰り返し音読し、作品のリズムやイメージを味わっている。 ・各句の季語について、「歳時記」で調べている。 ・近代の俳句史や各句の作者に関心を持ち、調べている。	① ② ③

